

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.9
Q1 室内環境						0.40		-	4.0
1 音環境					3.0	0.15	3.1	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル			—		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.2	0.50	
1 開口部遮音性能			—		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			—		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			—		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			Lr50以下		-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音			—		-	-	-	-	
2 温熱環境					3.0	0.35	5.0	1.00	4.8
2.1 室温制御					3.0	1.00	5.0	1.00	
1 室温			—		-	-	-	-	
2 外皮性能			性能表示「5-1断熱等性能等級」における等級5相当		3.0	1.00	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性			—		-	-	-	-	
2.2 湿度制御			—		-	-	-	-	
2.3 空調方式			—		-	-	-	-	
3 光・視環境					3.0	0.25	4.0	1.00	3.9
3.1 昼光利用					3.0	0.43	4.0	0.50	
1 昼光率			2.0%≦[昼光率]		-	-	5.0	0.50	
2 方位別開口			—		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備			—		3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					-	-	4.0	0.50	
1 昼光制御			カーテンと庇(バルコニー)を組み合わせで制御している		-	-	4.0	1.00	
3.3 照度			—		3.0	0.21	-	-	
3.4 照明制御			—		3.0	0.36	-	-	
4 空気質環境					4.0	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策					4.0	1.00	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用している		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					-	-	3.3	0.38	
1 換気量			—		-	-	3.0	0.33	
2 自然換気性能			各居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保		-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			—		-	-	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視			—		-	-	-	-	
2 喫煙の制御			—		-	-	-	-	
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	2.7
1 機能性					2.4	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性			—		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応			—		-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画			—		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			—		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			—		-	-	-	-	
3 内装計画			—		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			—		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			—		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			—		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			—		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			—		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			—		2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			—		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水VLP(B)、排水VP(B)、冷媒CUP(C),Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			—		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			—		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			—		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備			—		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			—		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			—		3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.2	0.30	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50	
		1 階高のゆとり	—	3.0	-	3.0	0.60	
		2 空間の形状・自由さ	—	-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		—	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	2 給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	3 電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-		
	4 通信配線の更新性	通信・電話系統のPF管による配管配線計画	5.0	0.10	-	-		
	5 設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	6 バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.30	-	-	1.4	
1	生物環境の保全と創出		—	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	1.0	0.40	-	-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		—	2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	-	4.2
1	建物外皮の熱負荷抑制		性能表示「5-1断熱等性能等級」における等級5相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.40	5.0	0.50	-	-	5.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			5.0	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	-	3.4
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		節水コマなどに加えて節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減		—	3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		2品目リサイクル資材を利用	4.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		—	3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=10未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	4.0	1.00	-	-	
	3	冷媒	—	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率60%	4.6	0.33	-	-	4.6
2	地域環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
	2.1 大気汚染防止		—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	—	-	-	-	-	
	3	悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	-		-	-	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	6.0		-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	-	1.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	-	-	3.0	-	-	-	1.0	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	-	-	-	-							
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.7	窓の日射熱取得率(η)	0.6
U値(W/m2K)	窓システム 4.2	屋根	0.4
外壁	0.6	床	1.8
住戸部分	窓システムU値 4.2	外皮UA値	0.6
η AC	1.7	η AH	0.8

3.1.1 昼光率

昼光率SDG 8.3.11, SDG 8.3.10

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 13.6%

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 - VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.35 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース - レストスペース -

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 - 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 64.0%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 - 建物緑化指数 -

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 - 水平投影面積率 - 地表面対策面積率 - 舗装面積率 -

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m - 断熱等性能等級 等級5 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 MJ/年^m 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 -

通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -

太陽光 48.6kW 太陽熱等 蓄電池

3 設備システムの高効率化

BEI/BEI_m 再エネ有 - 無 - オフサイト再エネ有 -

非住宅部分

集合住宅の評価

一次エネ削減率 再エネ有 60% 無 33% -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 -

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 石膏ボード エコマーク商品 押出法ポリ 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP) 3

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 - 隣棟間隔指標R_w -

地表面対策面積率 - 屋根面対策面積率 - 外壁面対策面積率 -

見付面積S_b - 卓越風向と直交する最大敷地幅W_s - m 基準高さH_b - m

緑地 - 水面 - 保水性対策面 - 高反射対策面 - 再帰性反射対策面 -